



希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町 7-16

tel:049-226-2491 fax:049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 27-01

7月号

発行2024年7月12日

Chartered 1998

会長 利根川 太郎

クラブ会長主題「原点に戻って、川越 YMCA を支えよう。」

副会長 松川 厚子

国際会長: A. Shanavaskhan シャナヴァスカーン(インド)

会計 吉田 公代

主題 Together for a better world より良い世界のために、共に

書記 吉野 勝三郎

スローガン Arise and Shine 立ち上がろう、そして輝こう

アジア太平洋地域会長 ジョーン・ウォン (香港)

主題 大きなインパクトを起こそう

東日本区理事 山田 公平 (宇都宮)

主題 ワイズの方向性を見極める

関東東部部長 山本 剛史郎 (川越)

主題 我々は微力かもしれないが、無力ではない！

7月の聖句

父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしたちの内にいるようにしてください。そうすれば、世は、あなたがわたしをお遣わしになったことを、信じるようになります。

・ヨハネによる福音書 17:21

All of them may one, Father, just as you are in me and I am in you. May they also be in us so that the world may believe that you have sent to me.
John 17:21

6月統計(6月22日)

出席者 7名 メークアップ 2名 出席率 90%

巻頭言

2024-2025 川越クラブ会長 就任挨拶

川越ワイズメンズクラブ会長 利根川 太郎

2024-2025 年度が始まり、利根川太郎が今期の川越クラブ会長を仰せつかりました。川越クラブも設立から 27 年目を迎え、チャーターメンバー以外のメンバーが、初めて会長の大役を引き受けることになりました。気が利かない人間ですので、ご迷惑をおかけすると思いますが、どうかよろしくお願いします。

今期は直前会長の山本さんが関東東部部長を引き受けられています。これまでも、数多くの川越クラブメンバーがアジア太平洋地域会長をはじめ、東日本区理事や区会計、区主任、部長や部役員などと、国内外のワイズメンズクラブの組織と活動を支えてきました。一方で、川越クラブ

として YMCA サービスや地域活動にも様々取り組んで参りました。昨年度は、このような川越クラブの活動を評価いただき、最優秀クラブ賞を受賞するという名誉にも浴したところです。

今期は、このような川越クラブの活動を基盤として、これからのクラブ活動を考えて参りたいと思います。そのために、まず原点に戻って川越 YMCA を支援することから考えていきたいと思っています。これまでも支援してまいりましたが、埼玉 YMCA 浦和センターが閉所になるなど埼玉 YMCA の変化にも対応し、川越 YMCA スタッフの意見も聞きながら、どのような支援ができるか考えて参りたいと思います。

手始めに、クラブメンバーが得意なことを生かして YMCA のプログラムに協力することなどを考えています。また、3 月春休み中のバス旅行など、これまでの実績も継続して参ります。頼りない会長ですがクラブメンバーが強力なので、皆様に助けをいただきながら務めてまいりたいと思います。1 年間よろしくお願ひ申し上げます。

2024-2025 年度 川越クラブ活動計画

会長 利根川 太郎

1. 会長目標
原点に戻って、川越 YMCA を支えよう。
2. 今期の目標
 - (1)川越 YMCA 活動を支援するために何が出来るか。
スタッフと一緒に考える。
 - (2)ユースボランティア育成を支援する。
 - (3)IBC との活動を継続・発展させる。

今後の予定

7月例会

7月20日(土)13:00 (於)川越YMCA
第1回関東東部評議会

7月20日(土) (於)ウエスタ 川越 15:00
川越クラブの例会直後に開催されますので、皆で参加しましょう。

6月例会報告

木村利人氏講演会「幸せなら手をたたこう」報告

山本 剛史郎

2024年6月22日(土)、川越ワイズメンズクラブ主催、埼玉 YMCA、埼玉ワイズメンズクラブ、所沢ワイズメンズクラブ共催で、木村利人氏講演会『「幸せなら手をたたこう」誕生物語』が行われました。会場は埼玉 YMCA 所沢センターの「子育て子育てセンター」で行われ、多くの参加者が集まり、とても良い会になりました。

私は、木村先生の「幸せなら手をたたこう」誕生物語は、1994年のフィリピン・ワークキャンプに参加した時から元・埼玉 YMCA 総主事の二子石章さんから聞いていましたし、NHK-BSでも2時間ドラマ番組で放送していたこともあり、よく知っていました。今年、そのことが漫画で出版されたこともあり、改めてお話を聞きたいということで、木村先生にメールを送ったところ、快く引き受けてくださいました。

木村先生は1934年1月生まれですが、当時の状況として軍国少年として教育を受け、そのような考えで育っていた背景を語ってくれました。しかし、ドイツ留学経験のあるおじさんは日本の敗戦を予見し、実際に1945年に日本は敗戦しました。その後、法律を学んでいた木村先生は早稲田奉仕園の勧めでフィリピン・ワークキャンプに参加することになり、そこで日本軍の行った残虐行為を聞かされました。もちろん、日本人に対するフィリピン人の感情は非常に悪いもので、行く先々で「ハポン・パタイ(日本人、死ぬ)」との言葉を浴びせられることも度々ありました。フィリピン・ワークキャンプを通してそのような体験をしたが、その後、日本に帰ってきて様々な思い、そして聖書、詩編47編の言葉をきっかけにして名曲「幸せなら手をたたこう」が生まれたことを語ってくれました。

木村先生は御歳90歳とは思えぬ元気で笑いを交えながら自分の体験を語ってくれましたが、本当に若者に聞いてもらいたい内容でした。今回の盛会に木村利人先生はもちろん、埼玉 YMCA、埼玉ワイズメンズクラブ、所沢ワイズメンズクラブの皆様にも感謝したいと思います。



国際の舞台から

“Keiko’s Monthly Briefing of YMI/ASP”

アジア太平洋地域会長の任を終えて

利根川恵子

私のアジア太平洋地域会長の任期が2024年6月30日をもって終了しました。その期間を振り返ると、喜びと同時に、十分なことができなかつたという悔しさも感じます。多くのチャレンジもある旅でしたが、何とか任務を成し遂げ、成長できたことを誇りに思います。

任期中、私はすべてのリジョンを2度訪問する機会に恵まれました。ただし、台湾は東日本区大会と日程が重なったため1度しか訪問できませんでした。これらの訪問は、「親睦を通じて輝き、力を与える」という私のモットーの証でした。特に、私の任期終了間際にスリランカ区と東南アジア区でそれぞれ2つの新クラブが結成されたことを誇りに思います。これらのクラブは、スリランカのキャンディとネパールのカトマンズ(カトマンズにはクラブがありますが活動中止中)という新しい都市で結成されたという点でも意義深いものです。

私の任期のもう一つのハイライトは、ネパールでのアジア太平洋地域ユースコンボケーションと香港でのアジア太平洋地域大会の成功でした。これらの行事は、東南アジア地区、特に香港部の傑出した働きによって実現しました。



さらに、私は、3つのYMI100周年記念地域プロジェクトが単に存続しているだけでなく、発展していることに感激しています。ソングフェスト・ブックの歌は、世界中のさまざまな会合で使われています。マカティYMCAのソーラーパネル・プロジェクトは、毎年期待される利益を生み出し、地域への資金返済(4年計画)が予定どおり完了するようです。e-クックブックは、外国のレシピを探求し、会員の皆さんに多文化体験をしていただくための素晴らしいツールであり続けています。

会長任期を終えるにあたり、川越クラブのみなさまの揺るぎないサポートと支援に深く感謝しています。

私の後任には、香港のジョーン・ウォンさんが就任しました。引き続き、地域の運営にご理解とご協力をお願いいたします。

なお、台湾からの初めての国際会長として期待されていた、チャーミング・シェンさんですが、4月に脳梗塞で倒れ、現在療養中です。従いまして、国際憲法の規定により、次期国際会長のA・シャナヴァスカーン(インド)さんが国際会長として就任しました。この人事により、次期国際会長が空席となっているため、次期国際会長を選出する選挙が、いずれ行われることとなります。



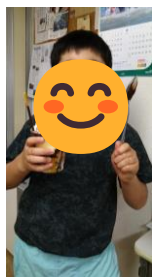
国際会長シャナヴァスカーン
(インド)



アジア太平洋地域会長
ジョーン・ウォン(香港)

YMCA 報告

6月のトースターでは、暑い日が続いている為、アイスパフェ作りを行いました。それぞれ好きな材料を入れたオリジナルアイスパフェを作り、大満足な様子でした!!



また、この時期ならではの“水遊び”も楽しみました。リーダーvsメンバーで大盛り上がりしました。自宅から、持ってきた水鉄砲を使って「よーし!!リーダー!!」と思いきりリーダーめがけて水をかけて遊んでいました。



子どもたちは、7月下旬から夏休みとなり、川遊び・昆虫探し・ウォータースライダー・鉄道の旅など、夏ならではのプログラムが続きます。『子どもは夏に育つ』/ウィリアム・ワーズワースの言葉にもあるように、子どもたちの夏の成長を願い、プログラムを進めていきます。

最後に、この時期は、楽しいことだけでなく、水難事故も多発します。『自分のいのちを守り、みんなのいのちを大切に』をスローガンに、ウォーターセーフティーの普及も使命とし取り組んでいきます。



皆さんの、健康、そしていのちが守れるようお祈り申し上げます。(木下遥七)

(編集後記)

今月も皆さんの協力で、良いブリテンが完成しました。寄稿して下さった皆さんに感謝します。前期の十勝での大会で「最優秀クラブ賞」をもらうことができたのは、この「希望の鐘」の役割が大きかったと思います。今期も毎月欠かさず発行できるよう、皆さんの協力をお願いいたします。

いよいよ、利根川太郎年が始まりました。会長目標は、“原点に戻って、川越YMCAを支えよう。”です。この目標に大賛成です。今年も書記を務めますので、この目標達成のため、努力しましょう。

(KY)